令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　22

事務事業名称		下水道開発指導事務						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部	課:　下水道管理課		区分	義務的事業		
基本項目	総合計画 基本目標	1.安全で、利便性の高いまち			細区分	非選択的区分		
	総合計画 施策目標	1.災害に対する備えができているまち			性質	交通・都市基盤		
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　1974(S49)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	下水道法、都市計画法、建築基準法、宅地造成及び特定盛土等規制法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	関係法令、条例等を遵守し、下水道整備が行われ、良好なまちが形成されている状態。						
	対象者(受益者)	開発行為等により、下水道施設の整備を行う市民、事業者。/						
	現状・課題	事業者が資金面等から整備(雨水流出抑制施設等)が困難な場合がある。/						
	事業の概要	都市計画法、枚方市開発事業等の手続等に関する条例等を遵守させることにより地域の特性を生かした下水道の整備を図り、良好なまちづくりに寄与する。 開発協議、宅地造成協議、建築確認等の申請に係る審査、指導事務						
	年間の主な事務	開発協議、行為許可申請及び開発の中間完了検査等						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	3.30人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	25,370	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		25,370	—	—	—		
	物件費計		9	—	—	—	35	25.7%
歳出計			25,379	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			9	—	—	—	35	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 開発行為等により、下水道施設の整備を行う市民、事業者が都市計画法、枚方市開発事業等の手続等を行う。(開発協議、宅地造成協議件数)	件	170 件	ー 件	ー 件	ー 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: 下水道整備が行われ、良好なまちが形成される。

指標: 開発協議等の件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	110	110	110	110	件
実績	170				件

算出方法: 開発協議等の件数

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明:

指標:

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					
実績					

算出方法:

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	開発申請件数は、申請者側に起因するものであり、目標値設定は非常に困難である。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	引き続き、事務手続きの円滑な執行に努めていく。	R7年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　23

事務事業名称		下水道台帳補正業務						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部		課:　下水道管理課		区分	義務的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	1.安全で、利便性の高いまち				細区分	非選択的区分	
	総合計画 施策目標	1.災害に対する備えができているまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　1984(S59)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	下水道法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	利用者が、正確な下水道施設情報を利用できる状態。						
	対象者(受益者)	本市が管理する下水道施設を調査・利用する市民、事業者。						
	現状・課題	下水道施設の正確な情報をもとに適正な施設利用を行う必要がある。						
	事業の概要	前年度の公共下水道整備箇所等における下水道台帳の追加・削除による更新を行う。						
	年間の主な事務	下水道施設情報管理システムデ―タ更新業務測量委託 上下水道施設情報管理システム保守業務委託 枚方市上下水道施設情報管理システム機器賃貸借 上下水道施設情報管理システム更新作業						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.10人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.54人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	8,457	—	—	—		
		会計年度任用職員	1,138	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		9,595	—	—	—		
	物件費計		24,037	—	—	—	28,944	83.0%
歳出計			33,632	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			24,037	—	—	—	28,944	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

	年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①	前年度の公共下水道整備箇所等における下水道台帳の追加・削除による更新を行う。(市域内の公共下水道整備面積(累計))	ha	11 ha	ー ha	ー ha	ー ha

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	公共下水道台帳が整備される。
指標	整備面積

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	3,485	3,490	3,495	3,500	ha
実績	3,491	ー	ー	ー	ha
算出方法	整備面積を算出				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	ー
指標	ー

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	ー	ー	ー	ー	ー
実績	ー	ー	ー	ー	ー
算出方法	ー				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	下水道施設情報管理システムデータ更新業務測量委託 5,124240円 上下水道施設情報管理システム保守業務委託 6,657,200円 枚方市上下水道施設情報管理システム機器賃貸借 2,194,896円 上下水道施設情報管理システム更新作業 10,061,150円
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	前年度に公共工事や民間開発等により設置・撤去された下水道施設について、下水道台帳データの更新を行う。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　31

事務事業名称			下水道施設・水路占用事務					
担当部署(R7年度機構)			部:　上下水道部	課:　下水道管理課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち			細区分	行政運営区分	
		施策目標	1.災害に対する備えができているまち			性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性		所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
						—			
	事業期間		事業開始：　2011(H23)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等		下水道法、枚方市下水道条例、枚方市下水道条例施行規程						
	関係附属機関等		該当なし						
	関係補助金等		該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態		不法占用等がなく、水路等の施設を適正に維持管理できている状態。						
	対象者(受益者)		本市が管理する水路等に隣接する土地所有者。						
	現状・課題		公の土地である水路等の占用については許可を受けて使用する必要があるが、許可を受けずに使用している場合がある。						
	事業の概要		水路の占用許可及び占用料の徴収 国、府の管理する水路等の占用許可の経由事務						
	年間の主な事務		占用等申請、占用料の徴収等						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.35人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	18,067	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		18,067	—	—	—		
	物件費計		1,713	—	—	—	1,868	91.7%
歳出計			19,780	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		1,952	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		34,385	—	—	—	35,882	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			36,337	—	—	—	35,882	
一般財源(物件費充当分のみ)			0	—	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 水路の占用許可等関係事務を処理する。	件	140 件	ー 件	ー 件	ー 件
② 水路に関する苦情を受ける	件	30 件	ー 件	ー 件	ー 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル

アウトプット①

説明: 水路の占用許可等関係事務について、適正に処理を行う。

指標: 許可等の件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	110	110	110	110	件
実績	140	ー	ー	ー	件

算出方法: 許可等の件数

ロジックモデル

アウトプット②

説明: 苦情に対する対応を行う

指標: 苦情件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	30	30	30	30	件
実績	30	ー	ー	ー	件

算出方法: 苦情件数

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: ー

指標: ー

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	ー	ー	ー	ー	ー
実績	ー	ー	ー	ー	ー

算出方法: ー

アウトカム②

説明: ー

指標: ー

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	ー	ー	ー	ー	ー
実績	ー	ー	ー	ー	ー

算出方法: ー

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	水路占用申請件数は、申請者側に起因するものであり、目標値設定は非常に困難である。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	引き続き、事務手続きの円滑な執行に努めていく。	R7年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　32

事務事業名称		下水道施設・水路等境界明示事務						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部		課:　下水道管理課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	1.安全で、利便性の高いまち				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	1.災害に対する備えができているまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　2011(H23)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市法定外公共物の管理に関する条例						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	境界確定に基づき適正な維持管理が行える状態。						
	対象者(受益者)	本市が管理する水路等に隣接する土地所有者/						
	現状・課題	境界確定に際しては、原則、隣地所有者や水路等の対側地所有者の同意が必要であるが、同意が得れずに不調となる場合がある。						
	事業の概要	本市が管理する水路に隣接する土地所有者からの申請に基づき、その土地と水路等の境界について、双方現地立会で境界線の位置について協議の上定める。						
	年間の主な事務	水路境界明示申請及び水路境界再交付申請等の業務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.55人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	19,604	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		19,604	—	—	—		
	物件費計		864	—	—	—	5,380	16.1%
歳出計			20,468	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			864	—	—	—	5,380	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 境界明示申請を受け付ける。	件	95 件	ー 件	ー 件	ー 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	双方現地立会で境界線の位置について協議の上定める。
指標	申請件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	95	95	95	95	件
実績	95	—	—	—	件
算出方法	申請件数				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—	—	—	—	—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	水路明示件数は、申請者側に起因するものであり、目標値設定は非常に困難である。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	引き続き、事務手続きの円滑な執行に努めていく。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**ー**	**ー**	**ー**

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　147

事務事業名称		水洗便所改造資金補助事業						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部		課:　下水道管理課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　1972(S47)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	下水道法、枚方市下水道条例　枚方市水洗便所等改造資金助成規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	水洗便所等改造資金補助金(下水道事業会計)　補助金性質:　その他補助						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	し尿及び雑排水を公共下水道に直接排除できるようにする工事をしようとする市民に対し、必要な資金の一部を補助すること及び融資あっせんを行い水洗化の促進が図れている状態。						
	対象者(受益者)	公共下水道供用開始区域内で、し尿及び雑排水を公共下水道に直接排除できるようにする工事をしようとする市民/						
	現状・課題	公共下水道供用開始区域については、3年以内にし尿及び雑排水を公共下水道に直接排除するよう敷地内の排水設備工事を実施する必要がある。/						
	事業の概要	下水道法及び条例に基づき、公共下水道の供用開始後3年以内に、水洗化改造工事を実施していただくため、必要な助成制度を執行する。						
	年間の主な事務	し尿及び雑排水を公共下水道に直接排除できるようにする工事をしようとする者に対し、必要な資金の一部を補助すること及び融資あっせんすることにより水洗化の促進を進める。 公共下水道処理区域の供用開始から3年以内の改造工事に対し、資金補助を行う。また、工事資金の融資あっせんも行っている。						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.45人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	3,460	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		3,460	—	—	—		
	物件費計		947	—	—	—	4,500	21.0%
歳出計			4,407	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			947	—	—	—	4,500	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 公共下水道処理区域の供用開始から3年以内の改造工事に対して水洗便所等改造資金補助金を交付する。	件	99 件	ー 件	ー 件	ー 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: 補助金交付に合わせて水洗化改造工事が実施される。

指標: 補助金交付に合わせて、水洗化改造工事が実施された件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	100	100	100	100	件
実績	99	ー	ー	ー	件

算出方法: 補助金交付件数を算出

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: 市内の水洗化が図られる。

指標: 下水道供用開始区域(整備済区域)内の人口に対して、公共下水道に接続して水洗化した人口の割合(水洗化率)【水洗化人口/処理人口×100】

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	97	97	97	97	%
実績	98	ー	ー	ー	%

算出方法: 水洗化工事を実施された実績により算出する。

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

公共下水道の整備については、行政の整備計画により独自に進めてきたものであり、下水道の供用開始についても整備した地域から行ってきたものである。枚方市の下水道普及率は、97.9%(令和7年3月31日現在)となっており、今後、供用開始する地域は減少していくものの、それらの地域は、他の供用開始済みの地域に比べ、公共下水道の利便を遅れて受けられるものであり、こうした状況を踏まえれば公平性の観点から、改造工事を実施していただくにあたって、現時点では、補助金制度は存続すべきものと考える。しかし、補助対象者が今後も減少していくなかで、事務経費等を踏まえ、本制度による補助制度を存続させるかどうか、定期的に検証を実施する必要がある。また、生活保護法に基づく生活扶助者への資金補助制度についても、市の他の補助制度の取り扱いの動向を踏まえ検討する。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	令和6年度実績 補助金(件数:99件、戸数:139戸、補助金額939,500円) 融資あっせん(件数:1件、戸数:1戸、融資総額140,000円)
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	下水道普及率は97.9%(令和7年3月31日現在)となっており、今後、公共下水道を整備して供用開始する地域は減少していくものの、公平性の観点から、現段階では補助金は存続すべきものと考える。しかし、事務経費等を踏まえ、補助制度を存続させるかどうか、定期的に検証を実施する必要がある。また、生活保護法に基づく生活扶助者への資金補助制度についても、市の他の補助制度の取り扱いの動向を踏まえ検討を進める。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　657

事務事業名称		公共下水道促進事務						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部		課:　下水道管理課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	下水道法、建築基準法、枚方市下水道条例、同条例施行規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	水洗化を促進し、快適な生活環境と公共水域の水質の保全が図れる状態。						
	対象者(受益者)	公共下水道が整備された区域内に建物を所有する市民、事業者						
	現状・課題	公共下水道が整備された区域内で水洗化改造工事猶予期間である3年を超えた未水洗建築物については、速やかに水洗化する必要がある。						
	事業の概要	公共下水道が整備された区域内の水洗化の促進を図る。						
	年間の主な事務	(1)水洗化促進業務では、公共下水道が整備された区域内で、水洗化改造工事猶予期間である3年(くみ取りは下水道法、し尿浄化槽は下水道条例で定めている。)を超えた未水洗建築物に対し、戸別面談等を中心に指導・勧告等を行うことにより、水洗化率の向上を図る。 (2)排水設備計画確認申請書・・・下水道条例に基づき、水洗化に伴う工事(既設建築物・新築建物)の排水設備計画確認申請の設計審査及び工事完了検査。 (3)建築行為等に伴う事前協議等(枚方市開発事業等の手続等に関する条例第15条)・建築行為等に伴う事前協議に先立って必要となる協議等(同条例第16条、第17条第1項第(1・3)号)・・・合議行為(公共下水道整備区域内の新築建物に伴う排水指導等。) (4)行為の許可・・・市が管理している下水道への接続の許可及び寄付手続きに関すること。(下水道条例第34条)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	4.00人	—	—	—
再任用	1.70人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	39,808	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		39,808	—	—	—		
	物件費計		3,703	—	—	—	4,932	75.1%
歳出計			43,511	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		3,259	—	—	—	4,405	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			3,259	—	—	—	4,405	
一般財源(物件費充当分のみ)			444	—	—	—	527	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 水洗化改造工事猶予期間である3年を超えた未水洗建築物に対し、個別面談等により指導・勧告等を行う。	戸	385 戸	ー 戸	ー 戸	ー 戸

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: 指導・勧告等を受けた市民が水洗化を図る。

指標: 指導・勧告による水洗化促進実施戸数状況

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	500	500	500	500	戸
実績	385	ー	ー	ー	戸

算出方法: 指導・勧告数の算出を行う。

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: 市内の水洗化が図られる。

指標: 下水道供用開始区域(整備済区域)内の人口に対して、公共下水道に接続して水洗化した人口の割合(水洗化率)

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	97	97	97	97	%
実績	98	ー	ー	ー	%

算出方法: 【水洗化人口／処理人口×100】

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

今後も、引き続き義務期限を超過した未水洗家屋の実態調査、指導勧告を行い、水洗化率の向上に向けて取り組んでいくものである。
また、公共下水道に接続にあたっての排水設備等の指導を、引き続き適正に行うものである。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	(1)水洗化促進業務･･･実態調査385戸 (2)排水設備計画確認申請書等･･･1,094件、工事完了検査1,132件 (3)建築行為等に伴う事前協議等･･･ 1,319件(建築確認 1,240件、開発手続条例第17条協議 79件) (4)行為許可･･･ 185件 水洗化(改造)義務期限の3年を超過した下水道未水洗家屋の所有者に対して、平成30年度より水洗化工事を実施されるよう積極的に指導勧告を行ってきた。令和6年度については、158戸の実態調査を行い、20戸の家屋で水洗化された(計画期間 平成30年度から令和5年度までの実態調査区域を含めると2,067戸の家屋が水洗化済み)。また、令和6年度から新たな取り組みとして、工事実施が見込まれる未水洗家屋を対象とした水洗化指導に着手した。(227戸)
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	今後も、引き続き義務期限を超過した未水洗家屋の実態調査、指導勧告を行い、水洗化率の向上に向けて取り組んでいくものである。 また、公共下水道に接続にあたっての排水設備等の指導を、引き続き適正に行うものである。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　658

事務事業名称		工場等届出規制指導事業（下水）						
担当部署（R7年度機構）		部：　上下水道部		課：　下水道管理課		区分	義務的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	非選択的区分	
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定（継続実施含む）						
	根拠法令等	下水道法、同法施行令、枚方市下水道条例、同条例施行規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質：　—						
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	法令に基づく手続きが適正になされるとともに、各事業所への立入等による指導、検査を行うことで水質基準が遵守され、下水道施設の機能の維持保全並びに適切な下水道終末処理施設における排水処理が可能となる状態。						
	対象者（受益者）	排除基準の遵守状況の確認対象となる工場、事業場等/公共下水道を利用する利用者						
	現状・課題	工場、事業場等から基準に適合しない排除下水の下水道処理施設等への流入に伴い、処理施設等の機能保持が損なわれることにより施設の利用に支障が生じることになる。/						
	事業の概要	・工場、事業場等から提出される下水道関係法令等に基づく申請・届出について、受理及び審査を行う。 ・工場、事業場等の立入検査等を通して、規制指導を行う。						
	年間の主な事務	・下水道関係法令等に基づく申請、届出の受理及び審査（年50件程度） ・工場、事業場等の立入検査（採水を含む）（年50件程度） ・排除基準違反工場、事業場等に対する基準遵守の指導						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.70人	—	—	—
	再任用	0.10人	—	—	—
	任期付職員	0.00人	—	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
	特別職非常勤	0.00人	—	—	—
	附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出	内訳 正職員、再任用、任期付職員	5,914	—	—	—		
	内訳 会計年度任用職員	0	—	—	—		
	内訳 特別職非常勤	0	—	—	—		
	内訳 附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計	5,914	—	—	—		
	物件費計	764	—	—	—	1,312	58.2%
歳出計		6,678	—	—	—		
歳入	国庫支出金	0	—	—	—	0	
	府支出金	0	—	—	—	0	
	受益者負担（使用料・手数料）	0	—	—	—	0	
	市債	0	—	—	—	0	
	その他	0	—	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	—	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		764	—	—	—	1,312	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

	年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①	下水道関係法令に基づく申請、届出等を受理する。指標:下水道関係法令に基づく届出件数	件	49 件	ー 件	ー 件	ー 件
②	排除基準等違反工場、事業場等に対し、基準遵守の指導を行う。指標:工場・事業場等の排除基準に関する違反等の件数	件	9 件	ー 件	ー 件	ー 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル アウトプット①

説明	適切な審査の上、事業者が法令に基づく手続きや排除基準等を継続して遵守できる。
指標	排除基準等不適合と認めた時の計画変更命令発出件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	0	0	0	0	件
実績	0	—	—	—	件
算出方法	—				

ロジックモデル アウトプット②

説明	立入検査により排除基準等に適合しなかった工場、事業場等に対して、文書により基準順守を指導する。
指標	排除基準等違反工場、事業場等に対する指導率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	100	100	100	100	%
実績	100	—	—	—	%
算出方法	指導した工場、事業場等数／排除基準等違反工場、事業場等数				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—	—	—	—	—
算出方法	—				

アウトカム②

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—	—	—	—	—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	・下水道法令の届出の受理及び審査、現場確認を行った。届出に際し、必要に応じて、法令順守に関し届出指導や立入調査等を実施した。ペーパレス化の観点から、引き続き、メールによる提出を受け付け、適切に対応した。 ・過去に排除基準違反等のあった工場・事業場に重点を置き、排水を確認し、基準値を超過した工場等に対し指導するとともに、適切な処理が行われたことを確認した。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	引き続き届出規制指導を行うとともに、届出内容の現場での確認及び指導を重視する。事業者に対し、届出のメールによる提出について啓発し、ペーパレス化に努める。排除基準の違反があった場合の文書による是正指導及び現場確認を継続する。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　916

事務事業名称		下水道管理課運営事務						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部		課:　下水道管理課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画	基本目標	9.施策体系外			細区分	行政運営区分	
		施策目標	99.施策体系外			性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定(継続実施含む)			
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	他部局との連絡・調整を行うことにより、組織としての機能を適正かつ効率的に発揮できる状態。						
	対象者(受益者)	連絡・調整を行う他部局/自治事務を信託している市民						
	現状・課題	組織間の連携や課の運営を円滑に図る必要がある。						
	事業の概要	課の運営業務						
	年間の主な事務	各種庶務事務 所管事務に係る他部局との連絡調整						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.90人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	14,607	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		14,607	—	—	—		
	物件費計		41,564	—	—	—	43,537	95.5%
歳出計			56,171	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		457	—	—	—	431	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			457	—	—	—	431	
一般財源(物件費充当分のみ)			41,107	—	—	—	43,106	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①			―	―	―

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	所管事務に係る他部局との連絡調整、各種庶務事務を適正に執行した。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	引き続き、課内事務手続きの円滑な執行に努めていく。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	―	―	―